

日退教発 20-36
2021年3月4日
(FAX送信5枚)

日本退職教職員協議会
各単会 会長 様

日本退職教職員協議会
会長 竹田邦明

日退教 当面の行動について

各退教の皆様にはコロナ感染防御に心を砕く毎日をお過ごしのことと思います。

東京・神奈川・千葉・埼玉の4都県以外について緊急事態宣言が解除される動きなっていますが、まだまだ諸活動を抑制する事態が続いています。

さて日退教は、ブロック代表者・ブロック女性代表者会議、役員会を4月20日に開催する予定です。実施できるか心配です。

新型コロナウイルス感染が減少しない状況ですが、緊急な行動として、次の2点の取組みが提案されています。体調にあわせて、コロナに警戒しながら、できる範囲で次の取組みをお願いします。

1 「戦没者の遺骨が含まれている土砂を辺野古基地建設に使わせてはなりません」署名・賛同の取組み

- ・別紙 賛同用紙・署名用紙を利用して署名活動に取り組む
- ・事務局 「平和をつくり出す宗教者ネット」に送付する。

〒150-0045 渋谷区神泉町8-7 日本山妙法寺内

TEL 03-3461-9363 FAX 03-3461-9367

※「辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議」は現地での座り込み闘争に取り組めます。

2 各種学校の幼保無償化からの排除に関する新たな署名について

現在、文科省の幼保無償化制度の対象になっていない朝鮮幼稚園は、各自治体から補助を受けていない朝鮮幼稚園で、40施設中27施設に上ります。

文科省は来年度から新たな支援策を実施できるよう現在制度設計中です。締切りが3月15日になっているため間に合うだけでも取り組んでいただけるようお願いする次第です。

- ・別紙署名用紙で署名の取組みをお願いします。
- ・到着が3月15日なるよう下記日退教までお送りください。

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 6F

日退教 宛

以上

宗教者共同声明
戦没者の遺骨が含まれている土砂を
辺野古新基地建設に使わせてはなりません

2020年12月10日

「戦没者の遺骨がまじった土砂を辺野古新基地建設に使うなんて、死者への冒瀆です」

「戦争で亡くなった人の遺骨を、土砂と一緒に軍事基地を造るための埋め立てに使ってはならない」

こう訴え、憤るのは、沖縄戦犠牲者の遺骨を三十八年間、収集してきた沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表の具志堅隆松さんです。

沖縄戦でお亡くなりになられた方々の遺骨が収集されないまま、土砂と一緒に、辺野古新基地建設の埋め立てに使われようとしています。

これは、防衛省がこの4月に、公有水面埋立法に基づき、設計変更を沖縄県に申請した結果、埋め立てに使う土砂の採取地として現行計画にない沖縄本島南部

が追加されたためです。本島南部には、今でも多くの遺骨が残存しています。遺骨は死者の尊厳をあらわすものです。遺骨をないがしろにすれば、死者の尊厳を踏みにじることになるでしょう。命を尊ぶ宗教者として、これを許すことは

できません。戦争で命を奪われた方々の遺骨を軍事基地建設に利用しないでください。

戦争犠牲者への尊厳の念をもって、菅義偉首相は、ただちに沖縄本島南部地域からの土砂の採取を中止すべきです。

今、菅義偉首相が、真っ先に優先すべきことは、遺骨の収集であり、遺骨を遺族の方々に一日も早くお返しすることです。

物言わぬ遺骨とその魂の叫びは、「遺骨を助けてほしい」と私たちに迫っております。

戦没者の遺骨が含まれている土砂を戦争のための基地建設に使ってはなりません。これは、戦没者を二度殺すことと同じなのです。

私たち宗教者は、辺野古新基地建設のため、沖縄戦激戦地の土砂使用計画をただちに撤回し、沖縄戦犠牲者の遺族の方々に謝罪することを菅首相に強く求めるものであります。

呼びかけ団体 (6 団体)

辺野古に新基地を造らせない島ぐるみ宗教者の会

日本宗教者平和協議会

基地のない沖縄をめざす宗教者の集い

日本カトリック正義と平和協議会

平和を実現するキリスト者ネット

平和をつくり出す宗教者ネット

賛同団体 (16 団体)

沖縄県内の賛同者 (54名)

沖縄県外の賛同者 (253名)

(仏教 61名)

(カトリック 146名)

(プロテスタント 43名)

(神道 1名)

(新宗教 1名)

連絡先 「平和をつくり出す宗教者ネット」事務局

東京都渋谷区神泉町8-7 日本山妙法寺内

TEL 090-1853-1446 (武田)

FAX 03-3461-9367

Email:nqh10948@nifty.com

ご賛同のお願い

別紙の「戦没者の遺骨が含まれている土砂を辺野古新基地建設に使わせてはなりません」
宗教者共同声明へのご賛同をお願いいたします。

私たち宗教者は、沖縄戦犠牲者を再び死にいたらしめないため、ありとあらゆる力を結集
していかなければなりません。

12月20日に発表した賛同者・賛同団体は、362名・18団体です。さらに大勢の
方々に賛同をお願いいたします。(どなたでも賛同できます)

FAX 03-3461-9367

「戦没者の遺骨が含まれている土砂を辺野古新基地建設に使わせてはなりません」	
宗教者共同声明に 賛同します	
お名前 _____	
肩書き _____	
ご住所 _____	
電話 _____	
FAX _____	
Email: _____	
「戦没者の遺骨が含まれている土砂を辺野古新基地建設に使わせてはなりません」	
宗教者共同声明に 賛同団体として加わります	
団体名 _____	
ご住所 _____	
連絡先 電話	FAX

Email: _____	

平和をつくり出す宗教者ネット事務局
東京都渋谷区神泉町8-7 日本山妙法寺内
090-1853-1446 (武田)
FAX 03-3461-9367

賛同のお願い

宗教者共同声明

戦没者の遺骨が含まれている土砂を 辺野古新基地建設に使わせてはなりません

2020年12月10日発表

「戦没者の遺骨がまじった土砂を辺野古新基地建設に使うなんて、死者への冒瀆です」「戦争で亡くなった人の遺骨を、土砂と一緒に軍事基地を造るための埋め立てに使ってはならない」こう訴え、憤るのは、沖縄戦犠牲者の遺骨を三十八年間、収集してきた沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表の具志堅隆松さんです。

沖縄戦でお亡くなりになられた方々の遺骨が収集されないまま、土砂と一緒に、辺野古新基地建設の埋め立てに使われようとしています。

これは、防衛省がこの4月に、公有水面埋立法に基づき、設計変更を沖縄県に申請した結果、埋め立てに使う土砂の採取地として現行計画にない沖縄本島南部が追加されたためです。本島南部には、今でも多くの遺骨が残存しています。

遺骨は死者の尊厳をあらわすものです。遺骨をないがしろにすれば、死者の尊厳を踏みにじることになるでしょう。命を尊ぶ宗教者として、これを許すことはできません。戦争で命を奪われた方々の遺骨を軍事基地建設に利用しないでください。

戦争犠牲者への尊厳の念をもって、菅義偉首相は、ただちに沖縄本島南部地域からの土砂の採取を中止すべきです。今、菅義偉首相が、真っ先に優先すべきことは、遺骨の収集であり、遺骨を遺族の方々に一日も早くお返しすることです。物言わぬ遺骨とその魂の叫びは、「遺骨を助けてほしい」と私たちに迫っております。

戦没者の遺骨が含まれている土砂を戦争のための基地建設に使ってはなりません。これは、戦没者を二度殺すことと同じなのです。

私たち宗教者は、辺野古新基地建設のため、沖縄戦激戦地の土砂使用計画をただちに撤回し、沖縄戦犠牲者の遺族の方々に謝罪することを菅首相に強く求めるものであります。

(期限は設けていません。)

氏名	所属団体等（空欄でも可）	都道府県名

送付先 平和をつくり出す宗教者ネット
〒150-0045 東京都渋谷区神泉町8-7 日本山妙法寺内
TEL 090-1853-1446 (武田) FAX 03-3461-9367
Email:nqh10948@nifty.com

幼児教育類似施設に対する「新たな支援策」に すべての外国人学校幼稚園も 対象にするよう求めます！

内閣総理大臣 菅義偉 殿
内閣府特命担当大臣 坂本哲志 殿
文部科学大臣 萩生田光一 殿
厚生労働大臣 田村憲久 殿

要請主旨

日本政府は無償化制度の「対象外」とした施設の一部を調査し、2021年度から幼児教育類似施設に関する「新たな支援策」を実施しようとしています。

私たちは、すべての外国人学校幼稚園を「幼児教育・保育無償化」の対象にするよう求めると共に、2021年度から実施される幼児教育類似施設に関する「新たな支援策」の対象にするよう求めます！

※ 鉛筆不可、代筆可

名前	住所（都道府県まで）

取りまとめ団体

平和フォーラム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-1

Tel: 03-5289-8222